

しきさい
四季彩マラソンロードに R2.3/5

蜂須賀桜を植樹しました

とくしまマラソンのコースである吉野川沿いを桜並木や四季折々の花で彩ろうという「四季彩マラソンロード」プロジェクト。今回は、東光株式会社管理している徳島市応神町吉成字前須地先の吉野川左岸堤防の蜂須賀桜10本を植え替えました。



『プラごみゼロ』とくしまスマート宣言

吉野川交流推進会議では、アドプトプログラム吉野川、2019三大河川シンポジウムにおける「全国川ごみサミット」との共同開催、水生生物調査をはじめとする環境学習など、吉野川を守るさまざまな活動に取り組んでいます。

令和2年10月、吉野川をはじめとする徳島の恵み豊かな環境を未来へ引き継いでいくための『『プラごみゼロ』とくしまスマート宣言』の趣旨に賛同し、徳島県・とくしま環境県民会議・一般社団法人徳島県産業資源循環協会・特定非営利活動法人 徳島県消費者協会の皆さんとともに、発起人として宣言を行いました。



YOSHINOOGAWA NEWS

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年度総会は書面決議としました。また、アドプト・プログラム吉野川参加団体・企業のうち、活動の顕著な団体・企業等には表彰状をお送りしました。

今年度の事業計画は次のとおりです。

交流事業

- ◆アドプト・プログラム吉野川の推進
- ◆子どもの交流体験事業の実施
- ◆地域イベントとの交流事業の実施
- ◆三大河川交流事業の実施（流域間交流事業）
- ◆国土交通省との共催事業の実施
- ◆「恵みの宝庫『吉野川』創造プロジェクト」との連携事業の実施

情報発信事業

- ◆機関誌「四国三郎吉野川」の発行
- ◆インターネットによる全国への情報発信
- ◆各種イベントでの活動のPR、パネル展など

会員の募集

- ◆イベント等で入会案内を配布し、新規正会員、賛助会員を募集

交流体験 in よしのがわ

吉野川の豊かな大自然のなかで
学び、遊び、ふれあい、親子で
楽しい夏休みの思い出を！

子ども達に吉野川の良さを実感してもらうとともに、地元の人々との交流を通じて連携を深めてもらおうと、毎年、上・中・下流の3か所で「交流体験 in よしのがわ」を実施しています。体験の前には水難事故防止講習も行い、川で遊ぶ時の注意、スローバッグやライフジャケットの使い方などをしっかり学習します。



救命胴衣の正しい着け方から

上流編 R2.7/24

水難事故防止講習を行いました

吉野川上流域の池田ダム湖でラフティングボート体験を楽しみに、小学生親子18名が参加。……ですが、この日はあいにくの雨で、増水の恐れがあるため、体験は中止。徳島河川国道事務所の方の説明で、水難事故防止講習のみ実施しました。



スローバッグを使って救助！なかなか思いどおりに投げられません

中流編 R2.8/9

吉野川でカヌーに乗ってみよう

吉野川中流域は、流れも比較的ゆるやかで、トク場や淵、瀬など変化にも富んでいることから、カヌースポットとして人気です。中流編は、四国三郎の郷付近で、小学生親子39名がカヌー体験を楽しみました。

川の達人・AMEMBOのスタッフの指導で、パドルの持ち方、漕ぎ方や姿勢、カヌーの操作方法などを教えてもらい、いよいよ川へ！大人も子どもも時間を忘れて川面で遊び、歓声を上げました。天候や川のコンディションにも恵まれ、夏休みの素敵な思い出ができましたね。

河川敷で基本操作を教わります



アメンボのように川面をスイスイと

下流編 R2.8/8

おさかな博士の川魚かんさつ



下流編は、井藤大樹さん（県立博物館主任学芸員）を講師に、鮎喰川・梁瀬橋付近で川魚観察会を行いました。魚のつかまえ方や観察のポイントのレクチャーの後、小学生親子31名が網を手に川へ入りました。実習後は、つかまえた魚について、先生が名前や生態を解説してくれました。オイカワ、ヨシノボリ、ヒラタカゲロウなど多くの魚や水生生物が観察でき、川の美しさ、自然の豊かさを満喫しました。



「おさかな博士」がわかりやすく解説。たくさん種類の魚が観察できました

